

年間評価計画

佐賀県立有田工業高等学校 定時制

教科・科目	数学科・数学I
単位数	2年2単位
学科・学年	セラミック科/デザイン科・2年
使用教科書	実教出版 高校数学I (7実教/数I708)
副教材等	なし
学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力をつぎのとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 図形と計量、集合と論証、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を養う。</p> <p>(3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>

学期	学習項目	月	学習のねらい・目標	重点			記録	備考 指導上の注意事項等	考查範囲
				知	思	主			
前期	(単元の内容)	4月	・相似な三角形の対応する辺の関係を理解する。	○				【ワークシート、演習(練習)課題】	前期 中間 期末 考查
	第3章 三角比		・三平方の定理を使うことができる。		○			【小テスト、演習課題提出】	
	1.三角形	5月	・直角三角形の2辺の比を三角比で表現できる。		○			【小テスト、演習課題提出】	
	2.三角比		・三角比の値を求めることができる。	○				【ワークシート】	
	3.三角比の利用		・三角比の表を利用できる。	○				【ワークシート】	
	4.三角比の相互関係		・三角比を利用して辺の長さを求めようと努力する。			○		【ワークシート、課題提出】	
	5.三角比の拡張	6月	・三角比の相互関係について理解している。	○				【ワークシート】	
	6.三角形の面積		これまでの学習の成果を確かめる。	○	○	●	【前期 中間考查】		
	7.正弦定理	7月	・鈍角の三角比の概念を理解する。		○			【ワークシート】	
	8.余弦定理		・拡張された三角比の相互関係について理解している。	○				【ワークシート】	
9.正弦定理・余弦定理の応用	・三角形の面積を求めることができる。		○				【演習課題】		
後期	第4章 集合と論証	10月	・正弦定理や余弦定理の便利さを知る。			○		【ワークシート】	
			・正弦定理や余弦定理を使うことができる。		○				
			・応用問題を解決しようとする。			○		【ワークシート】	
		9月	これまでの学習の成果を確かめる。	○	○	●	【前期 期末考查】		

【課題・提出物等】 問題集、課題プリント、ワークシート、ノートなど

【前期の評価方法】小テスト、考查評価、提出物評価、学習の取り組み状況などによる総合評価

後期	第4章 集合と論証	10月	集合の要素、部分集合、補集合等の用語の意味を知っている。	○				【ワークシート】	後期 中間 期末 学年 末 考查
			1.集合と要素	集合や補集合・部分集合をベン図で表現できる。		○			
	2.命題	11月	2つの集合の関係(部分集合や共通部分)について考えようとする。			○		【ワークシート】	
	3.いろいろな証明法		命題の真・偽について判断ができる。	○				【ワークシート】	
	第5章 データの分析	12月	これまでの学習の成果を確かめる。	○	○	●		【後期 中間考查】	
			データの表現方法が色々あることを理解する。	○				【ワークシート】	
	1.統計とグラフ	2月	2つ以上のデータの違いを考えることができる。		○				
	2.度数分布表とヒストグラム		データの分析に対する興味関心を持つ。			○		【ワークシート】	
	3.代表値	1月	分析の方法(モード・メジアン・箱ひげ図・分散など)を知る。	○				【ワークシート】	
	4.データの散らばり		分析によりそのデータの特徴を表現できる。		○				
5.相関関係	積極的にデータを分析しようと取り組んでいる。				○		【ワークシート】		
後期	第5章 データの分析	2月	平均値や標準偏差を計算することができる。	○				【ワークシート】	
			これまでの学習の成果を確かめる。	○	○	●		【学年末考查】	
		分散の大小によりデータの散らばりを理解する。		○					
		3月	意欲的に平均や分散・標準偏差を計算しようとする。			○		【ワークシート】	
		3月	データの分析により何が分かるかを知る。	○				【ワークシート】	
	相関係数の値により互いの相関関係を説明することができる。				○				

【課題・提出物等】 問題集、課題プリント、ワークシート、ノートなど

【前期の評価方法】小テスト、考查評価、提出物評価、学習の取り組み状況などによる総合評価